

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	アクティブスペースと宿題スペースをわけている。	パーティションでさらに区切る必要性あり。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	適切である。	急な欠員が出た場合、他事業所からのヘルプを円滑に行う事が重要
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	スケジュール、収納スペースの可視化により情報の伝達適切であり、段差が少なくバリアフリーもなされている。	トイレの介助を行うにはやや狭い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	消毒、換気、清掃が行われており感染症対策、清潔保持が出来る。	定期的なエアコンの清掃が必要。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	計画・実施・確認・改善に全員が参画できている。	突発的な出来事への対応策が、2つ以上必要。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%		改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%		HP上にて公表を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	75%		今後、外部評価の機会を増やしていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	最低月1回の研修の機会を確保している。	今後も研修の機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	アセスメントを実施し、児童発達支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	具体的な支援内容をガイドラインに沿って設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	行えている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	チームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	固定化しないようローテーションを複雑化している。	担当者の意見、感想をより反映できる様努めたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	成長過程に応じた支援計画を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	僅かな時間ではあるが、事前の確認を行っている。	現状以上の時間の確保が難しく改善が必要。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	僅かな時間ではあるが、ふりかえりを行っている。	着目すべき点を明確化し、より共有できるよう努めたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	ケース記録等で記録している。	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	全体が参加できており、定期的に支援計画の見直しが出来ている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	62.5%	37.5%	行っている。	今後も引き続き情報の共有を行っていききたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	75%	25%	医療ケアを行う対象児童がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	75%	25%	医療ケアを行う対象児童がいない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	行っている。	今後も情報の共有と相互理解を深めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	行っている。	今後も情報の共有と相互理解を深めていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	年5~7回の訪問研修を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	75%	今後積極的に行っていききたい。	今後のコロナ禍の収束に伴って行っていききたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	25%	75%	今後積極的に行っていききたい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	送迎時、LINEにてその日の様子をお伝えしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	62.5%	37.5%		十分には行えてない為、今後行っていききたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	契約時に行っている。	今後も丁寧に解りやすく説明を行っていききたい。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	同意を得ている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	送迎時、お迎え時やLINEでの相談に応じ適切な助言や支援を行っている。	今後も相談しやすい関係を築いていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	87.5%	12.5%	年1回の開催をしており、連携を支援している。	ここ数年コロナ禍の影響で、延期していた為今後は積極的に行っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	対応窓口を設置し対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	定期的に会報を発行し、情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	個人情報の漏洩を防ぐため、鍵付きの書庫に保管し、取り扱いにも十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	絵カード等を使用し配布物にはるびを打ち配布している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	87.5%	12.5%	昨今のコロナ禍もあり地域との交流が出来ていない。	今後のコロナ禍収束次第ではあるが、行っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	マニュアルの策定、訓練の実施を行っている。	訓練の実施を行っているが、マニュアルの周知が不十分である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	行っている。	上記同様、保護者への周知が不十分である。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	薬の種類、用法、用量が変わるたびに状況を保護者に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	医師の指示に基づき対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	62.5%	37.5%	作成して共有している。	作成はしているものの、活用できていない為、今後していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	義務化以降も研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	記載している。	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。